

平成30年3月23日

保護者の皆様

弥富市立大藤小学校長 森 敦睦

平成29年度 学校評価の結果について

春陽の候、保護者の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、このたびの学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。その集計と分析を、下記のようにお知らせいたします。家庭・地域と連携を密にし、より信頼される大藤小学校を目指して努力していきたいと思います。今後ともさらなるご理解、ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

記

1 選択回答アンケート

多くの項目で「思う」「だいたい思う」の回答が80%程度以上ありました。しかし、中には50%程度しかないものもいくつかありました。今回の結果を真摯に受けとめ、よりよい大藤小学校を目指し努力、改善していく覚悟です。

【環境・安全】

環境面については昨年度同様高い評価でしたが、安全・安心な登下校については、若干「あまり思わない」「思わない」という意見が増えています。

登下校の指導は、安全面、安心面のそれぞれからの指導が必要だと考えます。交通安全マナー、複数の児童での登下校、通学班における友人関係などの指導をていねいに継続していきたいと考えています。

【生活】

「お子さんは、家や地域であいさつをしている。」「お子さんの言葉遣いは、きちんとしている。」では、「あまり思わない」「思わない」という意見が昨年度同様30～40%程度あります。「お子さんは、学校が楽しいといっている。」「問題があったとき、先生は子どもたちの話をよく聞いている。」「子どもは給食を楽しみにしている。」では、「思う」の割合が若干増えています。

あいさつについては、最近では防犯上の問題もささやかれていますが、TPOに応じた行動ができるように指導していきたいと思えます。今後も各ご家庭との連携を密にし、学校と家庭・子どもたちとの信頼関係がより深まっていくよう、子どもたちの心に寄り添った指導を心がけていきます。

【学習・行事】

「子どもは本をよく読んでいる。」では、「あまり思わない」「思わない」という意見が45%程度あります。「先生は、子どもにわかりやすい授業をしている」の項目では、保護者・児童の「思う」「だいたい思う」の割合が増えました。

新学習指導要領にあわせて、従来の教え込むスタイルの授業から、聴き合うことや考え方をつなぎ合わせていくスタイルへの授業へ変換を図っています。わかりやすく、聴き合うことで深い学びができる授業をめざしていきます。

また、若者の活字離れが叫ばれている現在ですが、朝の読書の時間等を活用しながら、子どもたちに本を読む習慣を身につけさせたいと思います。

【家庭地域との連携、その他】

「心のアンケートや二者懇談（教師・児童）は、いじめ対策に効果がある」の項目で、保護者の「思う」「だいたい思う」の割合が増えました。

「困ったとき、相談できる先生がいる」「心のアンケートに対して、正直な気持ちが書ける」では子どもたちの肯定的意見は高いです。今後も、子どもたち・保護者と学校の信頼関係が深まるよう、真摯な気持ちで子どもや保護者の声を受けとめていくことを心がけていきます。また、中には自分の気持ちを表現することが苦手な子もいます。スクールカウンセラー、心の相談員さんと共に、そのような子たちの気持ちも汲み取っていけるような工夫をしていきたいと思っています

2 記述アンケート

【安全・安心な登下校】

交通量の多い道路が心配、下校時一人になってしまうことがある、子どもたちのマナーがよくないなどのご意見もいただきました。現在、教師による登下校指導以外に、地域の方による登下校の引率、PTAによる登校指導等の協力をいただいています。安全・安心な登下校は、大切な命を守るために必要なことです。引き続き、地域の組織等による協力体制も検討しながら、学校と地域が連携した指導ができるようにしていきます。

【担任としての指導】

「家庭学習に対するアドバイスがほしい」というご意見がありました。お子様の様子については、懇談会等を通してお伝えしています。その際に、話題にしていけると良いと感じました。また、気がついたところで話し合うことも大切にしていきたいです。

「あたたかい雰囲気の中で生活できた」「子どもの成長を感じることができた」という担任への温かいお言葉もいただきました。ありがとうございます。これからも、子どもの気持ちに寄り添いながら、温かさと厳しさを兼ね備えた指導を大切にしていきます。

今後も、学校のことでお気づきの点がありましたら、お声をお聞かせください。